震災の被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます
大陽の規格品
Taiyo Brand
写真は一例です。詳しくはWEBで！
スプリングピン　ウェーブワッシャー
スペーサー　グリップ止め輪
E形・C形止め輪　CA止め輪
Cリング　割ピン
皿ばね　スナップリテーナ
歯付き座金　スナップピン
スピードナット　グリップリング
プッシュナット　ジョイントグリップ
平行ピン　など。
あらゆるニーズにお応えする
精密部品
大陽の
Spring ばね部品
Spacer スペーサー部品
Bush ブッシュ部品
Shaft シャフト部品
Guide ガイド部品
Ceramics セラミックス部品
スプリングピン　インサートブシュ　スペーサー　皿ばね　E形止め輪　歯付き座金
自然を愛し、健康で住みやすい環境を築こう
J-VAC　JVAC-QM0001・品質　JVAC-EM0001・環境
大陽ステンレススプリング株式会社
〒177-8501 東京都練馬区三原台1-15-17 TEL(03)3922-4111 FAX(03)5387-7279
営業所／仙台・静岡・名古屋・大阪・広島　海外／マレーシア・香港・タイ
当社ホームページで製品情報をご覧ください。
http://www.taiyo-sp.co.jp/

小規模事業者のための「マル経融資」をご存じですか？
融資限度額：1,500万円　利率：1.95%（3月7日現在）
※融資限度額、返済期間の取扱いは、平成24年3月31日の日本政策金融公庫受付分までとなる予定です。
担保も、保証人も、信用保証協会の保証も不要！！
しかも低金利の国の融資制度です。お気軽にご相談ください。
東京商工会議所 北支部
窓口専門相談（法律・税務）も実施しております。
会員・非会員の方問わず利用できます。
北区王子1-11-1　北とぴあ12階　☎03-3913-3000

北東京6区の産業活性化支援策

産学官連携をさらに推進

北区

北区は化学、金属、精密機械などさまざまな業種が集まり、独自技術を持つ企業や、技術レベルの高い研究開発型企業も多い。同区ではこうした企業を支援するため、表彰制度を設けて毎年優れた企業や人物を表彰している。2010年度は「北区きらりと光るものづくり顕彰」にリニューアルし、「きらめき企業部門」に3社、「きらめきの技人部門」に6人を選出した。

産学官連携の取り組みも進めている。2月に区内にある東京都立産業技術研究センターと業務連携に関する覚書を締結。技術相談員の派遣などを検討していく予定で、産技研が5月に江東区へ移転しても引き続き協力関係を維持することを確認した。また、17年度に東洋大学が区内にキャンパスを移転するのに向けて、双方の理解を深めていく。同大学川越キャンパスを訪れ、教授らの話を聞くキックオフイベントなどを計画している。

11年度からは区内中小企業の情報や技術を収集したデータベースを新たに構築する。企業概要のほか、経営相談の履歴などを蓄積。企業の強みや特徴を知る資料とするとともに、企業間連携を促進するための情報基盤を整備していく。約300社の企業データを集める予定。当面は区役所内部の資料として使うが、将来は外部へ公開しての活用も視野に入れている。

2月の「北区きらりと光るものづくり顕彰」では3社、6人が表彰された

官民協働で中小企業支援

豊島区

豊島区は2010年4月に中小企業の支援部署「としまビジネスサポートセンター」を開設した。地域の金融機関と協働し、中小企業に対する融資や起業、販路開拓や経営相談などのさまざまなサービスをワンストップで行っている。

中でも「すがも事業創造センター（S－biz）」は、中小企業の販路開拓や売り上げ増などの相談に乗っている。巣鴨信用金庫のビジネスコーディネーターと対話する中から、自社の強みや特徴を見いだし、それを効果的にアピールする方法を考えていく。場合によってはプレゼンテーション資料の作成や営業先への同行も行う。販路開拓に悩む中小企業にとって強い味方だ。

相談件数は高水準を維持しており、4月からは東京信用金庫の職員、夏には税理士も駐在し、サポートを充実させる。

08年から毎年春に開催している産業見本市「としまものづくりメッセ」も恒例行事として定着した。今年は97社・団体が出展。電気自動車（EV）の展示や、彫金など伝統工芸の体験なども行われた。

3月に行われた「としまものづくりメッセ」では区内の伝統工芸職人が小学生に彫金を教えた

アニメ産業の支援を強化

練馬区

練馬区は日本のアニメ産業発祥の地で、区内には関連企業が90社以上集まり、日本一のアニメ産業集積地となっている。

同区ではアニメ産業の支援に力を入れており、今後さらに強化していく。11年度は金利や信用保証料の負担を軽減したアニメ事業者向けの特別貸し付けを新たに始める。また、中規模以上のアニメ関連企業を区内に誘致しようと「アニメ制作企業等立地促進助成制度」を創設する。

また、同区は世界最大規模のアニメ映画祭などが開催されるフランスのアヌシー市と2009年にアニメ産業交流協定を締結。同市にある映像専門学校の学生が今年夏に同区内のアニメスタジオでインターンを行うにあたり、区が学生の居住費用の助成を行う。

また、練馬区独自のアニメキャラクターを制作。3つの候補の中から区民アンケート投票によって3月に公式キャラクター「ねり丸」が決定。今後はアニメーションの制作やさまざまなイベントへの出演を通して、世界に「ジャパンアニメーション発祥の地」をアピールしていく。

練馬区の公式アニメキャラクターに決定した「ねり丸」

検査機器利用スペース設置

板橋区

板橋区は光学・印刷業を中心に製造業が盛んで、工業製品出荷額が23区中2位だ。5月に近隣の東京都立産業技術研究センターが江東区へ移転することから、この機能を補完するため2012年3月までに第一工場ビル内に各種検査・測定機器をそろえたスペースを設置する。ここには高機能マイクロスコープや接触3次元表面粗さ測定機のほか、測定顕微鏡や硬さ測定機、万能試験機、蛍光X線分析装置、恒温恒湿槽を導入。予約制で自由に利用できる。技術相談員も常駐し、中小企業の新製品に関する研究開発などを後押しする。産学官連携や人材育成の拠点としても活用していく。将来は「新産業育成プラザ（仮称）」を建設する予定だ。

毎年秋には「いたばし産業観光散策ツアー」が開かれ、中小企業の情報発信やマッチングの機会となっている。「板橋製品技術大賞」では区内企業の新製品が数多く表彰され、受賞後も販路拡大などのフォローアップを受けている。11年度は新製品開発に対する補助金制度が新設され、中小企業を強力にサポートしていく。

最近では産業観光にも力を入れている。19社が見学者の受け入れ態勢を整えており、産業観光散策ツアーや町工場を訪れて撮影、川柳をつくるワークショップも行っている。区民にものづくりへの理解を深めてもらい、住工共生を目指す。

産業観光散策ツアーでは区民らが町工場を訪れ、ものづくりの現場を見た（スガヌマ東京工場）

商業・飲食業活性化に注力

中野区

中野区は区内商業の振興や区民のエコ活動、地域の支え合い活動を促進する共通ポイントを7月から順次導入していく。商業活性化につながる「お買い物ポイント」は、制度の導入に賛同する商店で買い物をするとポイントを付与。1ポイントは1円に相当し、500ポイントから金券に交換できる。付与率は店舗によって異なり、区民以外でもポイントをためられる。金券は大型店、商店街を問わず区内の店舗で利用できるようにする予定だ。

毎年開催している「中野の逸品グランプリ」では、区内店舗のおいしいメニューや食品を人気投票により選んでいる。昨秋から今年3月までかけて行われた今年度の選考ではラリー方式が導入され、ノミネートされた店舗をはしごする人が出るなど、区内の飲食業、商業の振興につながった。

また、中野は「つけ麺」発祥の地で、区内には多くのつけ麺店が軒を並べる。2010年10月には中野区商店街連合会とファミリーマートが共同で「中野風つけ麺」を商品化するなど、地域の特色を生かした取り組みも進む。

中野区商店街連合会とファミリーマートが開発した「中野風つけ麺」（左から2人目が田中大輔区長）

地域電子通貨の導入推進

杉並区

杉並区は2011年度から電子地域通貨を導入する。導入により地域内の経済循環を促すとともに、区内での消費を活性化する。集積回路（IC）カードにプレミアム付き区内共通商品券などを盛り込み、区内の商店で利用できるようにする。ICカードを使った買い物をするごとにポイントがたまる仕組みも設ける。「長寿応援ポイント」やボランティアなどの社会貢献活動に対するポイントなどもICカードにためられるようにする予定だ。2万枚を発行し、利用可能店舗1800店舗を目指す。

このICカードは、民間の電子マネーと共通で使用できるようにする。さらに、将来は区からの助成金や謝礼金を電子通貨で給付し、コミュニティーバスの乗車券や病院の診察券、災害時の避難者支援、区内施設の会員証や電子チケットなどに活用することも視野に入れている。

また、杉並区はアニメ関連産業が多く集まっていることから、さまざまな支援策を行ってきた。これまでにアニメーションフェスティバルなどが行われた。

3月に開催された「アニメーションフェスティバル2011 in すぎなみ」

オリエンタル酵母工業株式会社
酵母を原点とする
技術立社を目指す

本社　〒174-8505　東京都板橋区小豆沢３－６－１０
電話　03-3968-1111（代表）　ホームページ　http://www.oyc.co.jp

ビジネスの「カタチ」を確かなものに。
あなたに信頼されるパートナーとして誕生。
「事業課題をクリアーしたい」「販路拡大を目指したい」
「外部ネットワークを作りたい」「技術には自信があるがなかなか売上に結びつかない」
すがも事業創造センター(S-biz)はお客様の本業を応援する新たなパートナーです。
with Hospitality Spirit
“お客様”を支える S-biz すがも事業創造センター 5つのサポート
1 お客様と夢を共有
実績を積んだ“ビジネス・コーディネーター”が、お客様との意見交換をベースに、「新たな視点」で、共に考え、気付きをご提供します。
2 すがも「四の市」ビジネスフェアの開催
多数来場者数実績のあるビジネスフェアを定期的に開催します。販売促進、アンテナショップ、情報発信の場としてご活用ください。
3 セミナー、交流会の開催
経営セミナーを開催して、お客様の真のニーズを顕在化します。また、ビジネス交流会を開催しお客様のネットワーク拡大に活用頂けます。
4 行政機関との連携によるサポート
中小企業基盤整備機構、東京都中小企業振興公社、豊島区生活産業課、板橋区立企業活性化センター等の公的機関と連携し、お客様の本業を強力にサポートします。
5 300の出前窓口
巣鴨信用金庫の300人の営業課員が、お客様から“ビジネスコーディネーター”へつなぎます。課題解決への出前窓口としてご活用ください。
喜ばれることに喜びを
巣鴨信用金庫
〒170-8477 東京都豊島区巣鴨2-10-2
お問い合わせ
すがも事業創造センター http://www.sugamo.co.jp/
☎03-3918-0196　s-biz@sugamo-sk.jp